

Honda は、二輪・四輪・汎用という幅広い商品を通じ、「移動の自由」「モビリティの楽しさ」「便利で快適な生活」を世界中のお客様に提供してまいりました。既存の商品の低公害化を進める一方で、燃料電池電気自動車やハイブリッドカー、家庭用コジェネレーションユニット、太陽電池などの、環境負荷低減に役立つ新商品の開発にも積極的に取り組んでまいりました。

二輪車におきましては、ガソリンエンジンの全面4ストローク化、FI(電子制御燃料噴射装置)によるエンジンの制御技術、キャタライザーの装着にいち早く取り組み、低燃費化と排出ガスのクリーン化を進めております。また、ガソリンとアルコールの混合使用が可能なフレックスフューエル車「CG150 チタン」※1や、アイドリングストップ・システムを装備した125ccスクーター「PCX」※2など、環境負荷低減につながる商品を世界各地域で発売※3してしております。

電動二輪車に対する取り組みとしては、1994年に、原付一種クラスの電動スクーター「CUV-ES」を、官公庁や地方自治体向けに台数限定でリース販売を実施いたしました。

スーパーカブは、「人や世の中のお役に立ちたい」という創業者の強い思いから1958年に誕生し、以後50年を超える今も、世界中のお客様からご支持をいただいているHondaの代表的なビジネスバイクです。EV-neo(イーブイ・ネオ)も、社会や人々の生活のお役に立つ製品として開発され、特に「クリーン」で「静か」、「力強い走り」というEV(エレクトリックビークル)のメリットを活かした製品であります。

Honda は、社会や人々の生活のお役に立つビジネスバイクにこそ、「クリーン」で「静か」、「力強い走り」というEVのメリットを活かすべきだと考え、EV-neoを開発。このたび発売いたします。



■CG150 チタン



■PCX



※1 「CG150 チタン」はブラジルにて販売。(2010年12月1日現在)

※2 アイドリングストップ・システムの装備状況は国、地域により異なります。

※3 「PCX」は、日本、タイ、ベトナム、インドネシア、イタリア、フランス、スペイン、UK、ドイツ、ポルトガル、ハンガリー、スイス、チェコ、ポーランド他で販売。(2010年12月1日現在)